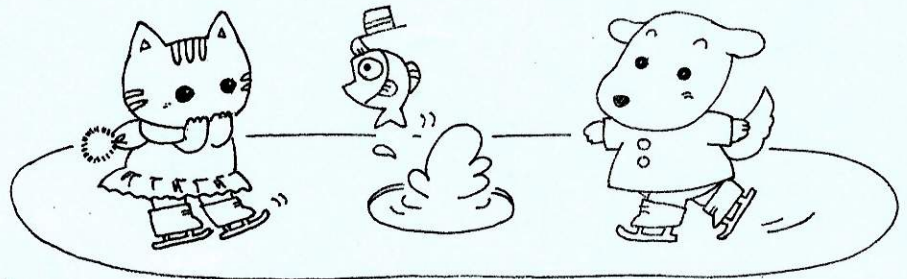
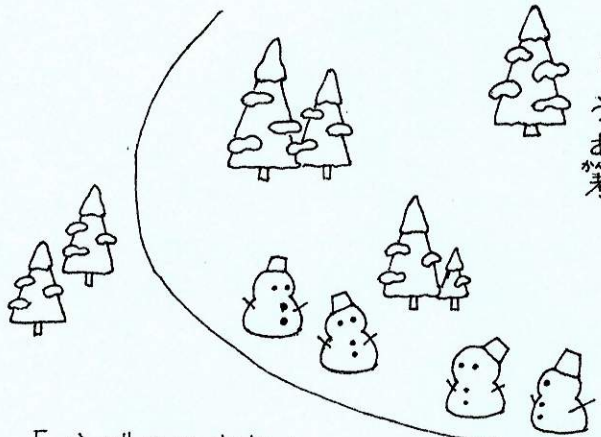


雪と氷であそんじゃおう

「火よう日のごちそうはひきがえる」
(933エ) ラッセル・E・エリクソン作

おいしいおかしをおばさんの家へ届けにスキーで向かった、ひきがえるのウォートン。ところが、たちがわるいと評判のみみずくにつかまってしまいます。みみずくが言うには「今度の火よう日はわしのたんじょう日。そのごちそうとして、おまえをたべてやろう」。火よう日まであと5日。みみずくの巣から、なんとかにげる方法を考えるウォートンですが…。

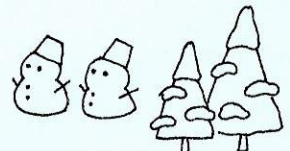
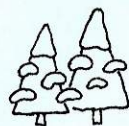
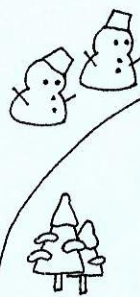
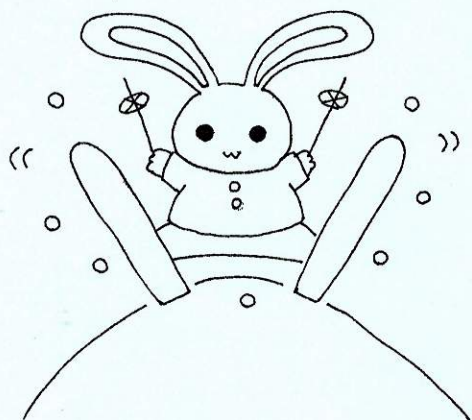


「犬ぞりの少年」
(933カ) J・R・ガーティナー作

おじいちゃんが病気になる、多額の税金が滞納されていたことを知ったウィリー。このままでは大事な農場が取り上げられ、おじいちゃんも元気になる。ウィリーは大人たちの反対をおし切って、犬ぞりレースに愛犬のサーチライトと出場し、優勝賞金で税金を払うことを決意します。しかし、ウィリーの前には、今までのレースでは一度も負けたことがないという強敵が立ちまはる。

「雪の日のたんじょう日」
(933ケ) ヘレン・ケイ作

ステイブンは今年のたんじょう日にほしいもの…それは雪。友だちと雪合戦をして遊べたら、どんなに楽しい一日になるだろう…？そしてたんじょう日。「雪がふりますように」というねがいは、かなえられました。でもちょっとかなえられすぎました。あまりの大雪に、友だちがたんじょう会に来られなくなってしまったのです。悲しいきもちでいっぱいステイブン。ところが、すてきなコトが起こり…!?



「楽しいスケート遠足」
(933ファ) ヒルダ・ファン・ストックム作

真冬のオランダでは、国中の運河や水路がこおりつき、何十キロモの氷の道ができます。エルスト村の先生と16人の子どもたちは、氷の道を遠くのまちまで、初めてのスケート遠足に出かけることになりました。わたしたちの氷の穴におちてしまったり、介抱してくれたやさしいおかみさんにパンケーキをごちそうしてもらったり…。ハラハラドキドキ、いろいろな人に出会いながら、みんなの楽しい遠足はつづきます…。

「雪の森のリサベット」
(949リ)

アストリッド・リンドグリーン作

おねえちゃんが熱を出し、お手伝いのアルビと2人で、まちへ買い物に出かけたリサベット。ほんの好奇心から知らないおじいさんのとびのってしまいます。どんどんまちを遠ざかっていくと、おじいさんに見つかったリサベットは、途中の森におきざりにされてしまいます。どうしたらよいかかわからず、泣きながら雪みちをすすむリサベット。そのころ家では、おねえちゃんが帰らないリサベットを心配して…。

